

# 医薬協ニュース

384号

2003年(平成15年)7月

## ●目次●

- ・トピックス 中医協薬価専門部会の動向 …………… 1
- ・平成15年6月度医薬協理事会報告 …………… 2
- ・各常設委員会正副委員長一覧 …………… 3
- ・リレー随想 (塩野谷 貫一)  
    蛍 …………… 5
- ・活動案内 …………… 7

### ■編集

医薬工業協議会  
総務委員会広報部会

### ■発行

医薬工業協議会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-10

日本橋銀三ビル

TEL03-3279-1890 FAX03-3241-2978



## 中医協薬価専門部会の動向

中央社会保険医療協議会は、6月11日開いた薬価専門部会で次回の改定に向け、薬価本調査を実施することを了承した。9月取引分を対象に、10月に実施される見通し。

また、同日の会合では薬価算定組織から、「新薬の薬価算定ルールに関する意見」を聞いた。意見は新規性の乏しい新薬の算定方法、規格間調整の在り方、徐放化製剤等における加算の在り方、原価計算方式の算定方法、外国平均価格調整などについて見直しの方向性を示唆したものの。

その中で、意見は新規性の乏しい新薬の算定方法については、現行のルールでは「補正加算の対象とならない新薬で、既に薬理作用類似薬が3以上存在する場合には、類似薬効比較方式Ⅱで行う」としているものを「現行の類似薬効比較方式Ⅱでは、最類似薬の1日薬価よりも薬価が高く算定されることがある」とし、より厳しいルールの適用を提言。規格間調整では個別化医療の観点から「必要とする用量に関係なく、薬の服用に係る費用を同一となるような仕組み(規格の差異に関係なく同一の薬価とする)の検討を要請。徐放化製剤等における加算については、現行のルールでは既に薬価収載されている医薬品があり、その後、その医薬品の徐放化製剤等が開発され、薬価収載されるような場合は規格間調整で算定されるケースが多く、加算が適用できないため、「投与回数の減少など、高い医療上の有用性を有するものについては、規格間調整を行った後に相当の加算をすべきではないか」とし、現行ルールの見直しを求めた形となっている。

また、原価計算方式については、輸入原価に情報提供に要する費用などの一般管理販売費等が既に含まれている可能性があるという指摘したうえで、「収載の際に外国価格がなかったものについて、収載後、外国における価格を把握し、何らかの調整を行なう仕組みも検討してみてもどうか」との考えを示し、外国平均価格調整については他の国に比較して極端に薬価の高いケースもあることを踏まえ、見直しを提言。新規後発品の0.8掛けの現行ルールについても「見直す必要があるのではないかと意見があった」としている。

## 平成15年6月度医薬協理事会報告

6月度理事会が6月19日薬事協会会議室において開催されましたので、附議事項についてお知らせいたします。

出席者：理事・監事13名、委員会・事務局7名

### I. 審議事項

1. 日薬連等関係団体への委員派遣の件
2. 知的財産委員会(仮称)の名称の件
3. 製薬協提出「承認審査データ保護に関する要望書」に対する医薬協の対応について
4. 総務委員会広報専門部会新設の件
5. 新聞広告費徴収に対する拒否会員会社の件

### II. 報告事項

1. 6/5「日本の社会保障を考える会」について
2. 「医薬品産業ビジョン」関係について
3. 医療用医薬品卸売業将来ビジョン2003について
4. 日医総研ワーキングペーパーについて～後発医薬品(ジェネリック医薬品)についての基礎研究～

### III. その他

1. 平成15年度に実施予定の医薬品価格調査について
2. 平成14年度教育研修の認定状況について

## 各常設委員会正副委員長一覧

- |            |      |        |          |
|------------|------|--------|----------|
| ○ 総務委員会    | 委員長  | 小林 実   | 東和薬品㈱    |
|            | 副委員長 | 古賀 尚久  | 東洋ファルマー㈱ |
| ○ 薬制委員会    | 委員長  | 北村 光司  | 共和薬品工業㈱  |
|            | 副委員長 | 長井 隆司  | 東洋ファルマー㈱ |
|            | 〃    | 梅谷 友信  | 東和薬品㈱    |
|            | 〃    | 辻 敏勝   | 日本化薬㈱    |
| ○ 薬効委員会    | 委員長  | 嶋瀬 棟正  | ニプロファーマ㈱ |
|            | 副委員長 | 富樫 美津雄 | 太田製薬㈱    |
|            | 〃    | 伊藤 洋治  | 大洋薬品工業㈱  |
|            | 〃    | 石金 美和子 | 日本医薬品工業㈱ |
| ○ 安全性委員会   | 委員長  | 小林 宏希  | マルコ製薬㈱   |
|            | 副委員長 | 西田 春昭  | ㈱三和化学研究所 |
|            | 〃    | 松田 俊樹  | 高田製薬㈱    |
|            | 〃    | 熊野 璋   | 東和薬品㈱    |
| ○ GMP委員会   | 委員長  | 山口 輝夫  | 高田製薬㈱    |
|            | 副委員長 | 井元 健一  | 大正薬品工業㈱  |
|            | 〃    | 川俣 知己  | 日新製薬㈱    |
| ○ 流通適正化委員会 | 委員長  | 宮島 隆彦  | 日本医薬品工業㈱ |
|            | 副委員長 | 関 論    | ㈱三和化学研究所 |
|            | 〃    | 松永 弥寿之 | 東和薬品㈱    |
|            | 〃    | 小林 洋一  | ニプロファーマ㈱ |
| ○ 薬価委員会    | 委員長  | 小林 実   | 東和薬品㈱    |
|            | 副委員長 | 栗山 隆   | 太田製薬㈱    |
|            | 〃    | 畠山 健   | 共和薬品工業㈱  |
|            | 〃    | 辻川 昭   | 高田製薬㈱    |
|            | 〃    | 古賀 尚久  | 東洋ファルマー㈱ |

- ジェネリック研究委員会 委員長 : 黒崎昌俊 辰巳化学株  
副委員長 : 杉浦好昭 共和薬品工業株  
" : 井上昭 東和薬品株
- くすり相談委員会 委員長 : 中沢敏之 東洋ファルマー株  
副委員長 : 太田正己 高田製薬株
- 知的財産研究委員会 委員長 : 山本典男 太田製薬株  
副委員長 : 大鹿康弘 大洋薬品工業株  
" : 佐藤有三 東和薬品株

(敬称略)



## 蛍

シオノケミカル株式会社

塩野谷 貫一

福寿草、梅、桜、牡丹、ツツジ、藤そして紫陽花と植物達が美しく季節の移り変わりをリードし、ビルの窓から見る陽射にも夏を感じられるようになる頃になると、小さな虫達のことを気になりはじめる。

日本列島大改造の嵐が終り、経済効果至上主義の中から環境と健康への配慮の重要性を再確認すると共に、母なる美しい地球を子孫へ残そうとする取り組みが始まっているが、山河が本来の緑と清水を取り戻すと、昔にはたくさん身近に居たのに、何時の間にかすっかり忘れていた虫が戻って来た。蛍である。

大蛍ゆらりゆらりととおりけり

小林一茶

私の住んでいる神奈川県で蛍では、三溪園、子供自然公園、大清水浄化センター等公園の他、相模原市、秦野市、座間市、藤沢市の一部が有名で、熱心に蛍を守る活動をされていると聞いているが、私が関心を持っているのは、家から近い住宅地の逗子市沼間地区である。

沼間地区では、ここ5年ほど前から、毎年5月の下旬から6月上旬には蛍を見ることが出来る。2-3日暖かい(25度位)日が続いた気温の高く風の無い夜、空が暗くなる頃、川沿いの茂みの葉が緑に光ると、そこに蛍が隠れているのだ。フッと、フワッと淡い黄緑色の光球が重力の影響をまるで受けていないかの様に宙を舞い他の淡黄緑色の光りと混ざって行く。8-9時ともなると数も増し、なんとなく集まっているように見える光りの集団は光通信の結果が同時に点滅を繰り返し、家々からこもれる灯りの中でも精一杯存在を誇示する。1週間足らずの命を子孫を残す為だけに燃焼しているのかと思うのはこちらの勝手な解釈であろうが、小さな虫が弱々しい発光で作出す大自然の中の幽玄なページェントは、見る者の心を癒し、浄化してくれる。このような蛍の情景

は、幼い頃に山河に囲まれて育った方々には懐かしい風景であろうが、私が育った頃の東京の北区では既に蛍を見かけることは無かった。私の蛍はここ沼間だけであり、住み続け20年となったこの地で毎年蛍を見られることが、私は無性にうれしい。

物思えば沢の蛍もわが身よりあくがれ出づる魂かぞと見る 和泉式部

我々の身の回りには、蛍光を利用した物は多い。蛍を何十匹と集め読書する方もいらっしゃるであろうが、蛍光灯、蛍光ペン、蛍光定量などと言われているのは、電子線、エックス線、熱、化学反応、酵素反応等のエネルギーを利用して熱を伴わないで起こした発光現象を利用するものである。犯罪捜査に欠かせないルミノール反応も血液中のヘモグロビンとルミノールが反応して発光することを利用しているが、死体からのメッセージが蛍光とは何とも似合い過ぎていると思うのは私だけでは無いはず。蛍の光も、もともと蛍の体内でルシフェリンが酵素ルシフェラーゼにより分解され発光するのであるが、蛍の光が人工の蛍光と異なる点は、発光のエネルギーが生体内にある点で、蛍が死んででは絶対に光らないことである。見るものをして蛍を、死者の魂のみならず恋心にまでに喩えさせるのは、命の蛍光であるとの思いがあるからであろう。

世界には約2000種の蛍がいるが、蛍を愛で、一週間足らずの命の燃焼に自分達の思いを重ね、この小さな虫を守り共に暮らせる環境を保存しようとするのは、世界でも日本だけと聞く。

我々も微力ながら環境問題に取り組んでいるが、美しい日本の風景と初夏の蛍狩りの情景が、何時までも日本で楽しめることを心から祈る今日この頃である。

次号は、全星薬品工業(株) 辻社長にお願いします。

活	動	案	内
---	---	---	---

## &lt;日誌&gt;

6月4日	薬制委員会	薬事協会会議室
6月5日	安全性委員会・講演会	〃
〃	知的財産研究委員会	〃
6月6日	流通適正化委員会	〃
6月10日	GMP委員会	繊維会館会議室
〃	薬制委員会	〃
〃	薬価委員会	〃
6月11日	総務委員会	薬事協会会議室
6月12日	関東ブロック会	〃
6月18日	委員長会議	医薬協会議室
6月19日	常任理事会	〃
〃	理事会	薬事協会会議室
〃	ジェネリック研究委員会	〃
6月25日	関西ブロック会	ライオンズホテル大阪会議室
〃	薬効部会	医薬協会議室
6月26日	薬事関係連絡会	〃
6月27日	総務委員会広報部会	〃

## &lt;今月の予定&gt;

7月8日	総務委員会広報専門部会	医薬協会議室
7月9日	総務委員会広報部会	〃
〃	総務委員会総務部会	〃
7月10日	関東ブロック会	薬事協会会議室



## | 編 | 集 | 後 | 記 |

\* 東大宮に住まって以来、JR宇都宮線を二十数年利用しているが、最近人身事故による列車の遅延に出くわす事が厭に多い。その頻度が近年段々と多くなった様に思う。その都度、新幹線の時刻や会議迄の時間等で、他に手段も無く余計にストレスを感じる。JR側には不慮の事故だろうが、利用客には甚だ迷惑、なんとか事故を未然に防げないのか、安全策は講じても皆無は至難かも知れない。それでも、最近出来る地下鉄ホームは二重構造の扉もあるが、JRの全域のカバーは不可能な話、運転再開を待つまで、色々な雑念が脳裡をかすめる。時には、仕事上のトラブルを含め、全く関連のない事に迄飛躍する事があり、無駄な時間はつくづく困りものだ。

\* イラク問題も影が薄くなる中、SARS問題は未解決で、嫌疑がハクビシンや狸にまで及び、当分の間は当該動物の中国から輸入禁止を告示とのこと、ペットの話しも、玉ちゃんを含めると、色々話題は尽きない。いずれにしても情報過多の時代、北朝鮮問題は尾を引き、韓国大統領の訪日、皇太子ご成婚10周年、次から次ぎへ話題の展開も加速し、ついていくのも大変である。

\* 話は急転し、仕事に関連する話題では、加速した医薬分業の広がり波紋で、予想外の薬剤師不足。景気が低迷しデフレ不況の中、薬学部の卒業生の就職率だけはほぼ100%、その為薬学志望の学生が増え続け、今年の4月には岡山市と延岡市に薬科大学が開校、来年には、銚子市、伊奈町(埼玉県)、西東京市、大田原市にも続々と開校が予定され、最終的には20校も増えるとのこと、一方文部科学省は学部の新設を規制しない方針、医師と歯科医師には養成すべき人数は法律で規制、薬剤師には規制がないとのこと、諸々の条件が重なり、ここ数年は薬科大学の新設ラッシュの様だ。我々は、斯かる実態を手放しに喜ぶべきだろうか? 近い将来、きっと薬剤師もリストラ対象となり、学校も淘汰される、きっとそんな時代がやってくる、いずれは、薬剤師の資格は有っても、就職出来なくなる。そんな時代がやがて来るだろう。

一方我々製薬企業にも、薬剤師の急増は本当に望ましか、いずれにしろ製薬企業は従来と違った考え方で、この問題と真剣に対応せねばなるまい。出来ればより良い製品造りの原動力として、大いに活用の時代としたいものだ。

(T. Y)